

e-ラーニング視聴率アップ対策とコロナ禍の院内教育手段の確立

広島県福山市にある下永病院で教育委員長を務める尾野加世子さんに、コロナ禍でより効果的な院内研修を実施するための取り組みについてご寄稿いただきました。

当院の紹介と導入の経緯

当院は広島県福山市西部にある精神科の専門病院です。自然豊かな環境で、病院からは松永湾と瀬戸内海の島々が一望できる療養環境になっています。病床数は159床で精神科一般病棟3病棟と認知症治療病棟1病棟の4病棟があり、そのほかに精神科デイケア・重度認知症デイケアを有しています。看護職員数は97名(正看護師61名、准看護師36名)です。

学研ナースサポートとの出会いは、私が新人看護職員研修を担当していたときに参加した院外研修(研修責任者研修)でした。学研メディカルサポートの提供するe-ラーニングという学習方法があり、それを活用しながら運営していると他病院から聞い

たことがきっかけでした。その話を聞いてぜひ当院でも活用して院内研修や自己学習に役立てていきたいと感じていたところ、阪上看護部長からe-ラーニング導入の話が上がり、ぜひ取り入れていきたいと伝えました。

導入から現在までの活用状況

導入当初は病棟別に視聴しておいてほしいe-ラーニング講義をいくつか提示し、基本的には自己学習での活用を中心に行っていました。しかし、勤務時間外の院内研修に加えてプラスアルファの自己学習ということもあり、スタッフが負担に感じたり、ネット環境がきちんと整っていないかったり、各スタッフがいつでも視聴できるという認識から視聴が後回しになっていたことで、視聴状況の差がスタッフ間で生じていました。

活用方法に悩んでいたところに学研メディカルサポート主催の地区別ユーザー交流会に参加しました。導入しているほかの病院の方からの具体的な活用方法やアドバイスを受け、2020年度から勤務時間外の院内研修のうち、e-ラーニングを活用できる研修はe-ラーニングへ移行し(全体の4割程度)、勤務時間外研修を減らしました。クリニックラダーやキャリアラダーをもとに段階的におさえておきたい内容と視聴時期を提示することで、現段階で何が必要なのか

が明確となり、導入開始時より徐々に視聴率アップにつなげることができました。

コロナ禍における今後の院内教育について

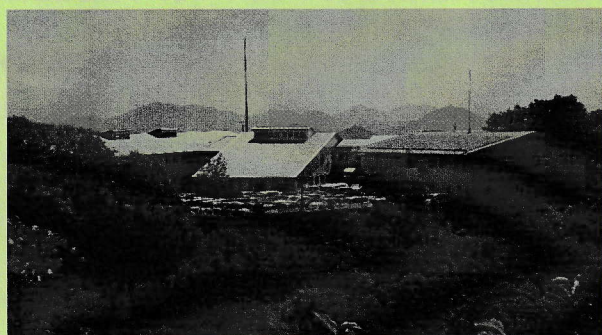
2020年度は4月に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、当院では上半期の院内集合研修をすべて中止としていました。院内の集合研修中止だけでなく、院外研修も中止となり、その期間、スタッフはラダー別の指定e-ラーニング講義だけでなく、自己学習として日ごろの看護で困っている内容に関する講義テーマを多く視聴していました。

私はこのコロナ禍の状況で、2021年度の研修会をどうしていくか、思い悩んでいました。そんなときに、教育講演のe-ラーニング講義「人材育成～WITHコロナ～これからの教育方法(内藤 知佐子先生)」の配信があり、多くのヒントを得ることができました。

この配信を参考に2021年度は、2020年度に引き続きラダー別の指定e-ラーニング講義の視聴促進に加えて、研修置き換え方式によりe-ラーニング講義を事前視聴したうえでOJTを行うことや、集合研修、病棟での研修、リモート研修などを組み合わせながら、より効果的な院内研修を実施していきたいと考えています。



▲(左から)香川城治副看護部長、阪上浩文看護部長、尾野加世子教育委員長



医療法人永和会
下永病院

〒720-0542 広島県福山市金江町藁江590-1 電話:084-935-8811

病床数:159床(認知症治療病棟:1病棟48床、精神一般病棟:3病棟111床)
診療科:精神科

永和会理念:私たちは人間尊重の精神を最優先し、地域の保健・医療・福祉の活性化に努め、地域に愛されることを目指し、健康保持向上に貢献します。

看護部理念:温かい心を持ちながら、質の高い看護・介護を提供します。

導入コース:基本パッケージ(精神)+オプション(看護管理者特別コースI、学研介護サポート)